

# 東京家政学院大学・

## 株式会社スーパー・アルプス共同研究

お弁当開発から、マーケティングの  
学びと研究へ

商品アイテムの開発、サービスの企画提案、マーケティング研究を目的に、株式会社スーパー・アルプス様と共に研究を進めています。大学側は、ケーススタディを学生に経験させて、マーケティングスピリットと企画開発のコンピテンシーを育成すること、企業側はコラボレーションを通して企業価値の向上や商品価値を高めることを期待しています。

本年度は、これまで経験を積み重ねてきたお弁当の企画開発をもとに、様々なマーケティング分析（3C分析・SWAT分析、店舗と地域のフィールドワーク、ユーズ分析）を組み合わせた商品アイテム設計を行い、お弁当とお惣菜の試作を行いました。昨年以上に魅力のあるアイテムが提案され、現在販売に向けて計画を進めています。さらに、効果的な商品の宣伝方法や企業の社会的貢献や経営理念を伝えるパブリシティ方法も研究し、具体的なプランを実行する予定です。どのような効果と結果が得られるか、参加者全員でとても楽しみにしているところです。



「考える力」を養う

本年度は、お弁当の開発から1つステージを進め、マーケティングを研究していくます。ねらいは、技術だけでなく「考える力」を高めること。グループワークを通して、マーケティング手法やプロジェクトマネジメントを学び、企画開発に求められる行動特性（コンピテンシー）を高めたいと考えています。この試みは、企業様にとっても新鮮に感じられているのだと思思います。

今後も、新しい試みを取り入れ、共同研究を推進したいと考えています。地域の皆様に、有意義な提案を提供できればと願っております。



### プロジェクト概要

- テーマ  
食品のアイテムやサービスの企画提案、マーケティング研究
- パートナー  
株式会社スーパー・アルプス
- 担当教員  
山崎 薫 准教授  
黒田 久夫 准教授
- 実施期間  
平成28年4月～平成29年3月